

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/08/23

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.11	0.33
JPY/THB	0.2626	0.0014
USD/JPY	137.48	0.51
EUR/THB	35.90	0.00
EUR/USD	0.9943	-0.0094
USD/CNH	6.868	0.032
SGD/THB	25.83	0.14
AUD/THB	24.83	0.24
USD/INR	79.87	0.09
USD Index	109.05	0.88

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.062	-0.002
10Y (THB)	2.619	0.018
5Y (USD)	3.158	0.064
10Y (USD)	3.015	0.043

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,734.0	-13.6
WTI (Oil)	90.23	-0.54
Copper	8,027.0	-51.5

Stock

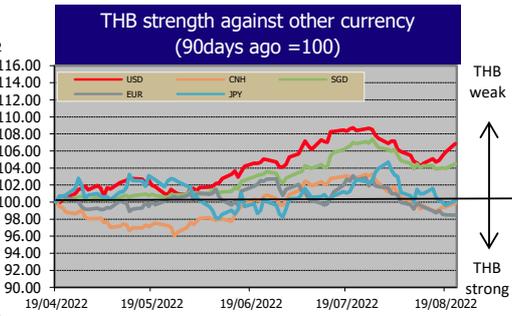
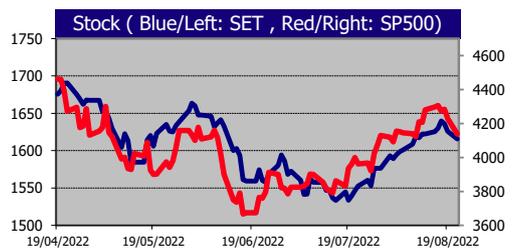
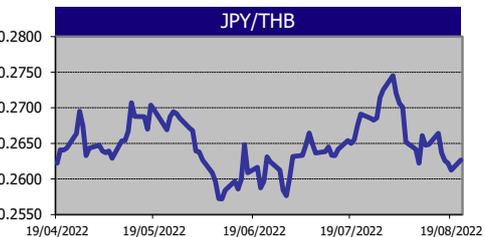
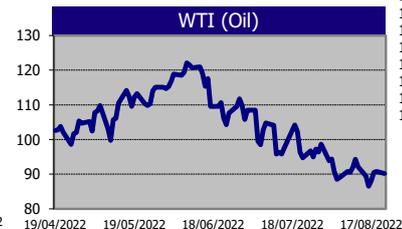
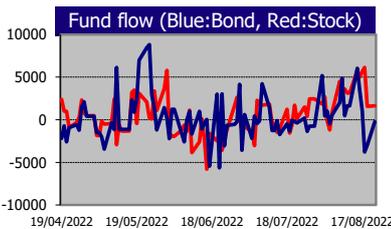
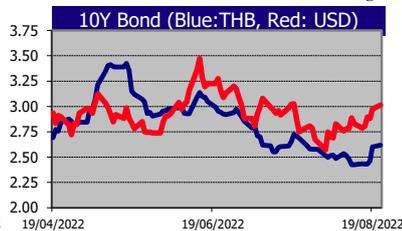
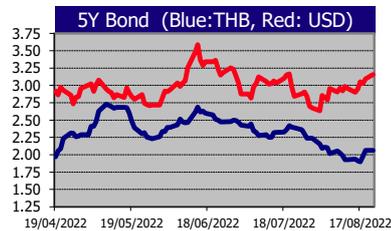
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,615.82	-10.10
NIKKEI (JP)	28,794.50	-135.83
DOW (US)	33,063.61	-643.13
S&P500 (US)	4,137.99	-90.49
SHCOMP (CN)	3,277.79	19.72
DAX(GER)	13,230.57	-313.95

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,644	57.1
Bond net flow	(238)	2757.5

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドル/パーツは上昇した。35パーツ台後半でスタートしたドル/パーツは、今週末にかけて開催されるジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の講演を控え、インフレ抑制に向けた利上げ継続が示唆される可能性に備える格好でドルが主要国通貨・アジア通貨を含め、ほぼ全面高となる展開に、終始底堅く推移。8月4日以来となる36パーツ台を再現し、36.11レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル/円は小幅に上昇した。137円ちょうど付近でスタートしたドル/円は米金利を眺めながらの推移に。一時米金利が落ち込んだ場面では137円を割り込む場面も見せたものの、終盤にかけて米長期金利が3.0%を上回ると137円台半ばまで上昇し、137.48レベルでクローズを迎えた。また、ユーロ/ドルは上記ドル高に資源価格高騰を背景とする景気後退懸念も重なり下落。およそ20年ぶりの安値を更新し、0.9943レベルでクローズしている。

Bangkok Dealer's Eye

為替相場の変動要因といえいくつもの要因が挙げられようが、直近のパーツ相場を窺う上で、以下2点に注目しておきたい。

1点目は人民元相場(中国景気)の動向である。昨日、中国のローンプライムレート(LPR)が引き下げられた。先週15日に中期貸出制度(MLF)の金利が引き下げられていたこともあり、ほぼ予想通りの利下げではあったものの、相場は人民元安で反応。ドル/人民元相場との相関性が高いとされるドル/パーツ相場もそれに連動するような格好でパーツ安の推移を見せている。

2点目は米国金融政策の動向である。週末にかけて開催されるジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の講演において、利上げ継続スタンスが示されることが警戒されており、注目を集めている。議長の発言次第では相場が振られる展開も十分想定される。加えて、次回FOMCIは9/20~9/21にかけての開催が予定されている。それまでに米国の指標やFed高官の発言に相場が一喜一憂する展開を想定しておく必要があろう。

上記はいずれもパーツ相場に限った話ではないものの、足もと、同相場のドライバーとして特に警戒すべき要素であることは意識しておきたい。(末廣)